

平成27年度 魚沼市外国語活動部 活動報告

部長 上村 勤

1 研究主題 外国人との交流を通じた外国の言語や文化についての理解の深化

2 当市並びに部の研究の概要

学校数9、児童数1,822、学級数95、部員数は10名。教員自身がよりグローバルな国際理解を深めるために、南魚沼市にある私立の大学院大学で年3回行われる交流イベント活動に参加して研究する。

3 研究の実際

(1) 国際大学院大学について(設立1982年、学生数330、95%が外国人留学生)授業は全て英語。全寮制で出身地は115か国。学長は北岡伸一氏。魚沼市・南魚沼市内には、総合学習等で留学生を招いて交流をしている小学校が数か校ある。

(2) 交流イベントの概要

- ① 実施主体 「うおぬま国際交流協会」が「夢つくす」という名前で広く門戸を開く。
- ② 今年度のイベント日程

イベント名・会場	日時	内容	部員
キッズサロン 大学内2階食堂	5月6日(水) 10:30~13:30	地元小学生と学生とその子女がゲームや工作などで交流する。	5名 参加
インターナショナルフェスティバル 体育館・野外特設	5月24日(土) 14:00~18:00	学生による国別出店(料理)や民族舞踊のパフォーマンス発表と自由交流	5名 参加
多文化理解講座 体育館	11月28日(土) 16:00~20:00	国別の歌や民族舞踊等のパフォーマンス発表と交流。	7名 参加

(3) イベント交流の様子と成果

① キッズサロン



ア 英語で「かぶと」の折り方を説明…Let`s peper folding(折り紙しましょう) Please fold the paper in half(紙を半分に折って)
イ 全員で「フルーツバスケット」…A man, putting blue shirt(青いシャツ着てる男) A woman, likes chocolate(チョコが好きな女子)

ウ 折り方の詳しい単語が言えなくてもジェスチャで何とか説明できた。

エ フルーツバスケットは、衣類や好きな食べ物など簡単な単語でも十分遊べた。

② インターナショナルフェスティバル



ア アジアを中心に20か国以上のブースがあり、How much?(いくら?) Hot?(辛い?)などの会話で交流できた。

イ 北岡学長の挨拶は全て英語。パフォーマンスの司会も英語。国名程度は聞き取れるが、あとは難しい。踊りや歌は視聴していて楽しい。勇気を出して出演者と会話ができるとなお良かった。

③ 多文化理解講座



ア 始まる前に、「うおぬま国際交流協会」の事務局員から「夢つくす」等の概要や交流の歴史等について予備知識を学ぶことができてよかった。

イ 鮮やかな民族衣装での発表は、インターナショナルフェスティバルの時とは違う内容で、堪能できた。写真のように部員も踊りの輪に入って一緒に踊った。「観る・踊る・話す」に積極的に挑戦することが必要だ。